

目 次

はじめに

第 I 部

実践としての・科学としての社会福祉

序章	実践としての・科学としての社会福祉を学ぶ意義	3
	実践としての社会福祉 科学としての社会福祉 社会福祉を学ぶ意義 社会問題の定義と理論 国際的視野の必要性 科学としての危機 実践と科学の相互作用	
1 章	実践としての社会福祉	10
1	多義的な福祉・社会福祉の概念定義	10
	福祉の定義 日本で使用される社会福祉の定義 公的制度としての社会福祉	
2	実践としての社会福祉とソーシャルワーク	15
	一定の定義基準 開拓者や思想的潮流 社会事業が実施された時代や状況 ソーシャルワークの方法と技術 ソーシャルワークが担う社会的機能の二重性	
3	社会福祉と社会政策・福祉モデル	27
	ソーシャルワークの専門性を重視した国際比較 社会政策モデル・福祉モデルによる国際比較 福祉レジームに基づいたソーシャルワーク・モデル	
2 章	科学としての社会福祉	43
	——社会福祉学が学際的科学である理由	
1	実践から出発するソーシャルワーク研究	43
	実践に基礎をおく社会福祉学 科学としてのソーシャルワークの発展を促した背景：科学の階層化・細分化	

- 2 ソーシャルワークの知識対象・方法・理論……………47
 ソーシャルワークのパラダイム 科学としてのソーシャル
 ワークに関する2つの見方 ソーシャルワークの知識対象
 ソーシャルワークの調査・研究方法 知識対象と理論の関係
 ソーシャルワーク研究のジレンマ
- 3 社会問題と社会科学……………55
 社会問題に対する社会科学の関わり方 社会問題の定義をめ
 ぐる問題 社会問題に対する多様な見方
- 4 アメリカと北欧の社会問題研究の異なる伝統……………65
 アメリカの理論的観点 北欧の理論的観点 異なる理論的
 観点を生み出した背景 必要とされる異なる伝統の融合
- 5 実践と理論の関係からみた知識を生成する多様な方法……………72
 理論的あるいは経験的知識・経験知 科学知識と実践の関係
 科学における価値判断の自由と倫理的視座
- 6 国際的視野からみたソーシャルワークの研究分野と主題……………79
 難しい知識対象・科学としての定義 主な研究領域と主題
 ソーシャルワーク研究の意義
- 7 社会調査と社会福祉調査の意義と主な方法……………86
 社会調査の歴史的背景と意義・目的 社会調査の対象 社
 会調査の種類 社会調査の主なデータ収集法 社会福祉調
 査の主な方法
- 8 実践をより科学的にするための試み／可能性と限界性……………94
 科学的証拠に基づく実践（EBP）運動の背景 EBP導入のた
 めの科学的根拠の検索・レビューと確定方法 ソーシャル
 ワークの実践をより科学的にするために

第I部 引用・参考文献……………101

第II部
世界の社会福祉

序章 国際比較の視点と目的 …………… 107

1章 所得保障	109
1 貧困削減・予防のための所得保障.....	110
2 社会保険.....	113
社会保険制度化の異なる発展 理想型社会保険モデル	
3 公的扶助・最低(限)所得保障.....	118
救貧事業による貧困者救済 公的扶助制度の台頭と展開	
4 公的扶助レジームと貧困削減効果.....	125
公的扶助レジーム 公的扶助と社会保険の相関関係 公的 扶助による貧困削減・緩和効果	
5 ヨーロッパの貧困との戦い.....	136
2章 家族政策・児童福祉	139
1 家族政策の定義と多様な政策視座.....	140
2 早期の家族・児童福祉政策と貧困対策との相関性.....	143
3 女性就労の増大と脱家族化が与えた影響.....	144
女性就労の増大 女性就労率と出生率の肯定的相関関係 脱家族化のパラドックス	
4 子どもの貧困と安寧・ウェルビーイング.....	152
5 児童保護.....	156
児童保護2つの系譜 子どもの最善を重視するモデルの登場	
6 子どもの発達条件の均等化を図る就学前事業の重要性.....	162
3章 障害者福祉	166
1 障害に対する見方と障害者政策の相関性.....	168
産業化による有能・無能選別と施設隔離政策 ベヴァ リッジ報告とマーシャルの社会権 脱施設化とノーマライ ゼーション 自立生活運動	
2 個人・医学モデルから社会モデルへの転換.....	176
個人・医学モデル 社会モデル 医学モデルと社会モデル の統合的試み 障害モデルの二元化による問題点	
3 障害関連給付から雇用保障へ.....	181
障害関連給付と労働能力との相関関係 障害者雇用の新たな	

試み 障害者の社会構造的依存	
4 欧州共同体の障害者政策促進戦略……………186	
2000～10年戦略とその結果 新たな2010～20年戦略「障壁のないヨーロッパ」構築	
4章 高齢者福祉 …………… 191	
1 老齢年金制度と高齢者の経済的条件……………193	
2つの系譜：ビスマルク型とベヴェリッジ型 年金制度と高齢者の貧困・所得の不等との相関関係	
2 公的年金改革議論と高齢者の所得階層の二極化……………199	
多様な年金改革の試み 年金制度の市場化と所得の不等 ライフスタイルの変容による所得階層の二極化	
3 高齢者ケア・サービス……………204	
ケア・サービス供給国際モデル 高齢者ケア・サービスの財政運営と組織化 ケア・サービス供給とニーズ査定	
4 高齢者ケアへの家族参加……………214	
第Ⅱ部 引用・参考文献 ……………294	

第Ⅲ部 日本の社会福祉

1章 所得保障 …………… 227	
1 社会保障政策と所得保障政策……………227	
所得保障制度とは 家族制度との「相克」からの脱皮	
2 貧困政策と社会福祉政策の特色……………231	
公的扶助の歴史と特質 第二次世界大戦後の所得保障政策とその周辺	
3 生活保護制度の現状……………236	
4 貧困の捉え方……………239	
捉え方をめぐる諸課題 貧困の定義 貧困の度合い 日本の相対的貧困率	

2章	児童福祉	244
1	戦前にみる児童福祉政策の系譜と特色.....	244
2	児童福祉法と現代児童福祉政策.....	246
	日本国憲法と児童福祉法 児童福祉と「家庭」 少子化「対策」と児童福祉改革	
3	現代における児童の権利侵害—特に児童虐待防止—をめぐる動向.....	253
4	これからの児童福祉—制度の連続性と連携に向けて.....	255
	人生「前半」の社会保障と「児童期の延長」「若者支援」 児童福祉政策と地域指向 専門職の連携	
3章	障害者福祉	260
1	障害者福祉の歴史.....	260
	家族・親族扶養の伝統 戦争と障害者	
2	身体障害者福祉法, 知的障害者福祉法と障害者福祉制度の成立.....	263
	日本国憲法と身体障害者福祉制度—「更生」と「保護」の間 障害者福祉制度の拡大と障害者の権利	
3	日本における障害者運動とノーマライゼーション.....	266
	親の会と当事者運動 日本のノーマライゼーションと障害者の権利 障害者・障害理解と法	
4	「市場型福祉」と障害者福祉のあり方.....	271
	「基礎構造改革」後の障害者自立政策 「施設福祉」から「就労支援」へ 障害者福祉の新潮流 新たな障害者福祉問題—更生保護と障害者の犯罪・累犯問題	
4章	高齢者福祉	278
1	高齢者福祉を取り巻く状況.....	278
	暮らし・ライフコースの変化・流動化 日本的「家族主義」からの離陸—高齢者と年金	
2	老人福祉制度から高齢者保健福祉制度へ.....	283
	高齢者福祉の歴史 「社会福祉基礎構造改革」と「老人福祉」か	

ら「高齢者保健福祉」へ

- 3 社会福祉制度と医療保健制度の再編——介護保険と介護問題………288
介護保険法制定の背景とその概要 介護の社会化をめぐって

5章 日本の社会福祉と方向性 …………… 293

「社会福祉基礎構造改革」その後の検証 社会福祉の専門職・
専門教育 社会福祉サービスの特質とコラボレーション
グローバル社会における国際社会福祉への役割

第Ⅲ部 引用・参考文献………299

索 引